



泣くと目が赤くなったり、鼻水が出たりするのはなぜ

泣くと鼻水が出るのは

泣いたときに鼻水は、目の涙腺から出たなみだです。

人間の目と鼻は、細い管でつながっています。そのため、なみだは、この管を通して、鼻の中に流れこみます。泣いたときには、なみだの量が多くなるため、そのなみだが鼻に流れこみ、鼻水となって出るので。また、管を通して鼻へ流れこめなかったなみだは、目からあふれて、こぼれ落ちるのです。

泣くと目が赤くなるのは

泣くと目が赤くなるのは、白目にある細い血管に、たくさんの血液が流れこむからです。つまり、赤いのは、血の色というわけです。

なぜ、泣くと目の血管に、たくさんの血液が流れこむのかについては、まだ、完全にはわかっていません。泣いて神経が興奮すると、血がたくさん流れるらしいのですが、これも、本当のところは、はっきりわかっていません。（監修・保志 宏）

